

# お福分け

いただいたものを、他の人に分けることを「お裾分けすそわけ」といいます。

「珍しいお菓子をいただいたので、お裾分けです」などのように使います。

この言葉は江戸時代の初期には使われていたそうで、人付き合いのなかで自然に生まれた言葉なのでしょう。

良いことを独り占めせずひとじに周囲の人に分け与えあたるといふ考え方は、日本人らしい思いやりにあふれています。

お裾分けは、ただくほうはもちろん、分けるほうも、幸せな気分になります。分け合うほどに、心は豊かになるものです。

職場や近所付き合いなどでは、相手との親交を深めるきっかけにもなるでしょう。

分けるのは、物品だけとは限りかぎません。役に立つ知識ちしきや勉強になる教養を耳にしたら、周りの人にもぜひ広めたいものです。

ただし、お裾分けという言葉は、目上の人に使うと失礼になるので注意しましょう。その場合は「お福分け」という言葉もあります。幸せをみんなで分かち合い、広げていきましょう。

今日の言葉

幸福はみんなで分かち合いましょ

今日の気づき

コメント